

# 身体的拘束最小化に向けた病院としての表明

当院は、患者さんの尊厳と権利を守り、安全で安心できる医療を提供するため、身体的拘束の最小化に病院全体で取り組みます。

身体的拘束は患者さんの身体的・精神的苦痛を伴い、尊厳を損なう可能性があります。そのため当院では、身体的拘束を行わないことを原則とし、多職種が連携して代替手段を検討しながら、身体的拘束の回避と早期解除に努めます。

やむを得ず身体的拘束を実施する場合には、切迫性・非代替性・一時性の3要件を満たしていることを十分に検討し、患者さんやご家族へ説明を行うとともに、定期的な評価を実施し、解除に向けた取り組みを継続します。

また、身体的拘束最小化対策に関する研修や事例検討を継続的に実施し、職員一人ひとりが患者さんの尊厳を尊重したケアを実践できるよう努めます。

私たちは、患者さんにとってより良い療養環境を提供するため、病院全体で身体的拘束の最小化を推進してまいります。

令和8年6月1日

名南病院

院長 小南 重人

総看護課長 瀬川 真貴子